



ExcelCreator 2016の対応機能※1

ExcelCreator 2016で対応するExcel の主な機能は次の通りです。

ページ設定	ページ(印刷の向き、拡大縮小印刷※2、用紙サイズ)、余白(余白、ページ中央)、ヘッダー/フッター※3、シート(印刷範囲、印刷タイトル※4、ページの方法)
セルの書式設定	表示形式、配置(横位置※5、縦位置、文字の制御、方向)、フォント(フォント名、スタイル、サイズ、下線、色、文字飾り)、罫線(線、色)、塗りつぶし(背景色、パターンの色、パターンの種類)
図※6	図の設定、オートシェイプの設定
その他	シート名、シートの追加/削除/コピー、行の高さ、列の幅、行の挿入/削除/コピー、列の挿入/削除/コピー、セルのクリア/コピー

※1 ExcelCreator 10.0 for .NETの対応機能です。

※2 "次のページ数に合わせて印刷"の設定には対応していません。

※3 ヘッダー/フッターの画像の挿入には対応していません。

※4 PDF ファイル出力時は対応していません。

※5 "インデント" の設定には対応していません。

※6 "3D"、"影"、"グラデーション"、"テクスチャ" の設定には対応していません。

上記に掲載のない Excel の機能は、弊社までお問い合わせください。

開発環境、動作環境に合わせた製品構成

ExcelCreator 2016は、Excel のファイル形式(xlsx形式、xls形式)や、動作環境ごとに、3つの製品(バージョン)を収録した統合パッケージです。

ExcelCreator 2016				
製品名	ExcelCreator 10.0 for .NET		ExcelCreator Ver3.6	ExcelCreator Ver3.0
開発環境	.NET		ActiveX	
ファイル形式	xlsx※1	xls※2	xlsx※1	xls※2

※1 Excel 2007/2010/2013/2016 の標準ファイル形式(xlsx形式)に対応。

※2 Excel 2003の標準ファイル形式(xls形式)に対応。

ライセンス ExcelCreator 2016 のランタイムファイルは、クライアント環境への再配布時のみロイヤリティフリーです。サーバー環境へ再配布する場合は、製品ごとに別途サーバーライセンスが必要となりますので、詳しくは弊社までお問い合わせください。

必要システム※1、※2

OS	Windows Vista (SP2 以上) / 7 (SP1 以上) / 8 / 8.1 / 10 Windows Server 2008 (SP2 以上) / 2008 R2 (SP1 以上) / 2012 / 2012 R2 (全て日本語環境)
開発ツール	Visual Studio 2008 (SP1 以上) / 2010 / 2012 / 2013 / 2015 (全て日本語環境)
対応言語	Visual Basic .NET、Visual C# (Windows アプリケーション、ASP.NET Webアプリケーション)
ハードディスク/メモリ	100MB以上の空き容量/1GB以上(推奨2GB以上)
フレームワーク	.NET Framework 3.5 (SP1 以上)
Excel バージョン	Excel 2003 / 2007 / 2010 / 2013 / 2016

※1 日本語版環境でのみ動作保証を行っております。

※2 ExcelCreator 10.0 for .NETの必要システムです。

ExcelCreator 2016 に収録されている全製品の最新情報は弊社Webサイトでご確認ください。

■標準価格 **70,400円** (税込 1クライアント開発ライセンス)

販売に関するお問合せは下記をご利用下さい。

ホームページ ▶ <http://www.adv.co.jp/>

 **アドバンスソフトウェア株式会社**

〒918-8239 福井県福井市成和1丁目2816番地

TEL.0776-21-9008(代) FAX.0776-21-9022 E-mail:info@adv.co.jp

※Microsoft、Windows、Visual Studio、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※その他すべての会社名、ブランド名および製品名は個々の所有者の登録商標もしくは商標です。

※仕様は品質改良の為、予告無く変更することがあります。

取扱店



Excel ファイル生成ツール

ExcelCreator 2016

プログラム上で Excel ファイルを高速生成!

100%マネージコードで実装した最新バージョン(.NET版)を収録した
Excel ファイル生成ツールの統合パッケージ。

今やビジネス文書の標準的な作成手段となった Excel。表計算からデータ収集、分析まで幅広い分野で活用されており、アプリケーション開発においても多くのユーザーから「Excelで出力を行いたい」という要望が自然と出てきます。

ExcelCreator 2016 は、Excel ファイル(xlsx 形式、xls 形式)を効率よくプログラム上で生成できる

「Excelファイル生成ツール」です。Excelがインストールされていない環境でも、独自の技術によりファイルを高速に生成しますので、パフォーマンスに優れたアプリケーションを開発することができます。

Windows アプリケーションからWebアプリケーションまで、Excelを活かしたアプリケーション開発を支援します。

◆ さまざまなアプリケーションに対応した Excel ファイル生成機能

ExcelCreator 2016 は、次の Excel ファイル生成機能を提供します。

Excel ファイルを新規作成

プログラムから Excel ファイルを新規に生成することができます。

既存の Excel ファイルをオープン

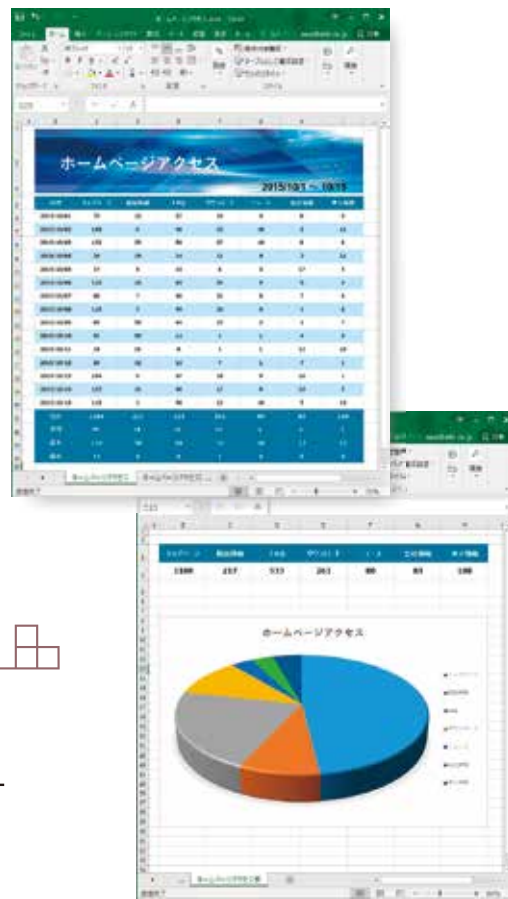
プログラムから Excel ファイルをオープンし、セルの値の読み取りや、セルに値や書式を設定して上書き保存することができます。セルの値の読み取りのみを行う場合、読み取り専用でオープンすることもできます。

オーバーレイオープン

Excel であらかじめ罫線などの枠組み (テンプレート) だけを設定しておき、プログラムからはテンプレートに対してデータだけを設定して別の Excel ファイルに保存する機能です。テンプレートはエンドユーザーが作成することもできるので、ニーズに合った開発ができます。また、オーバーレイオープンに使用するテンプレートの Excel ファイルは、プログラムに埋め込んで使用することもできます。

PDFファイル、HTMLファイル出力に対応 (.NET版)

新規作成、オープン、オーバーレイオープンした Excel ファイルは、そのままのイメージで PDF ファイルやHTML ファイルに出力することもできます。



◆ Excel ファイルを高速生成/実行環境に Excel は不要

ExcelCreator 2016 は、独自の技術により高速に Excel ファイルを生成します。

処理速度例 (※)

例1) 10列×1,000行(1万セル)の明細を出力	
Excel Object	約9.4秒
ExcelCreator 2016(xlsx)	約0.06秒
ExcelCreator 2016(xls)	約0.04秒
ExcelCreator 2016(Express)	約0.03秒

例2) 20列×5,000行(10万セル)の明細を出力	
Excel Object	約84秒
ExcelCreator 2016(xlsx)	約0.5秒
ExcelCreator 2016(xls)	約0.2秒
ExcelCreator 2016(Express)	約0.2秒

サーバーやクラウド環境で Excel がインストールされていなくても、Excel ファイルを生成するアプリケーションを構築できます。

※ExcelCreator 10.0 for .NETの処理速度です。また、処理速度は、マシンスペックやデータ形式により異なります。
OS: Windows 10 Enterprise 64bit、CP: Intel Core i5-4460 3.20GHz、メモリ: 8GB の実行マシンでの結果です。

◆ シンプルなコーディングで Excel ファイルを簡単に生成

ExcelCreator 2016 による Excel ファイルの生成は、たった3段階のコーディングで実現可能です。

コーディング例 (C#)

```
// ① Excelファイル(NewBook.xlsx)を新規作成
xlsxCreator1.CreateBook("C:¥NewBook.xlsx", 3, xlsxVersion.ver2016);
// ② A1 セルに値を差し込み
xlsxCreator1.Cell("A1").Value = "アドバンスソフトウェア株式会社";
// ③ Excelファイルをクローズ
xlsxCreator1.CloseBook(true);
```

豊富なセルの 指定方法

値を差し込むセルの指定は、**"A1 参照形式"、"座標形式"、"セルの名前"、"変数名"**の4つの方法を使用することができます。

コーディング例 (C#)

```
// A1 参照形式
// セル位置を "A1" のように直接文字列で指定できます。
xlsxCreator1.Cell("A1").Value = 1000;

// 座標形式
// セル位置を(0, 0)のように座標形式で指定できます。
xlsxCreator1.Pos(1, 1).Value = 1000;// B2 セルに 1000 を設定

// セルの名前
// Excel の名前ボックスに入力したセルの名前で指定できます。テンプレートで名前の位置を
// 変更すれば、プログラムを変更せずにデータの設定位置を変えることができます。
xlsxCreator1.Cell("金額").Value = 1000;

// 変数名
// セルに設定した特定のキーワード文字列 (デフォルトで"**) から始まる文字列(例:"**金額")で指定できます。
// テンプレートで変数名の位置を変更すれば、プログラムを変更せずにデータの設定位置を変えることができ、
// さらに複数のセルに同じデータを設定したい場合などに便利な機能です。
xlsxCreator1.Cell("**金額").Value = 1000;
```

シート、セル の操作

値の差し込み以外に、シートごとのページ設定、セルの罫線や背景色などのセル書式、図、オートシェイプの設定が可能です。また、セル、行、列、それぞれの単位でのコピー、クリアや、シートのコピー、削除の機能も提供します。

New! Excel 2016 対応

Microsoft Excel 2016に対応。新規作成時にExcel 2016の形式を指定することができます。また、Excel 2016で作成したファイルのオーバーレイ、上書き、読み取りオープンができます。

New! 統合コンポーネント

xlsx形式とxls形式の両方を扱えるコンポーネントを付属。100%マネージコードで実装されたコンポーネントで、xlsx形式、xls形式の両形式に対応。プラットフォームに依存しないアプリケーションを開発することができます。

New! Express コンポーネント (※2)

大量のデータをより高速に書き込み可能なExpressコンポーネントを付属。開始セル指定でデータセットを直接設定してExcel ファイルに書き込むことができます。

New! セルデザイナー

セルの値、書式の設定を独自の UI上で定義可能なセルデザイナーを付属。Excel から直接セルをドラッグ&ドロップして位置情報を展開し、各セルに対してデータベースのフィールドとの関連付けや表示形式、罫線、背景色等の属性を直感的な UI操作で定義します。コード上では定義したデータを呼び出すだけなので、シンプルなコーディングで Excel ファイルの生成が可能です。また、ソースコードの自動生成機能にも対応しており、プログラミングを支援します。

※1 新機能は、ExcelCreator 10.0 for .NET のみ対応しています。※2 xlsx形式のみ対応しています。